

## ゼロエミッションへの挑戦



21世紀は環境の時代です。20世紀の大量生産、大量廃棄による資源消費型社会から資源循環型社会の実現に向け、あらゆる英知を結集して地球環境との共生を基本とした持続的発展を模索し、追求し続けなくてはなりません。また、企業を取り巻く環境はますますダイナミックかつスピーディーに変化しています。TDKは21世紀も活力ある会社でありたいと考え、2000年4月からExciting Companyの実現と企業価値の拡大を目指し、新中期計画「Exciting108」をスタートしました。

新中期計画では資源循環型社会へ積極的に対応するため、基本方針のひとつに「ゼロエミッションへの挑戦」を掲げました。これまでゼロエミッションの達成を2006年3月としていましたが、産業廃棄物の埋め立て処分場の逼迫化等社会動向を考慮し、2年前倒しの2004年3月としました。徹底した廃棄物の排出抑制、再使用を優先して排出を極力抑え、やむを得ず排出されたものを再資源化する「エコファクトリー型ゼロエミッション」がTDKの目指す方向です。

さらにTDKはISO14001にいち早く取り組み、国内のすべての生産拠点、研究開発拠点での認証取得を終了し、海外事業所でも着実に進行中です。TDKはISO14001に基づく環境マネジメントシステムの運用により、環境負荷の継続的改善に取り組んでおります。

また、事業所の環境保全活動にとどまらず、製品開発においても1999年4月から「製品アセスメント」「グリーン購入」を開始し、電子部品の鉛フリー化をはじめ、環境に配慮した製品づくりをスタートしました。

「地球との共生」なくして企業の存続はありません。TDKは社員一人ひとりがこのことを認識し、持続的発展に向け「未来のために今何ができるか」を真剣に考え、環境問題に取り組んでいます。

本報告書をお読みいただくことにより、TDKの環境への取り組み姿勢と活動をご覧いただき、多少なりとも皆様のお役に立てれば幸いです。

TDK株式会社  
代表取締役社長

A handwritten signature in black ink, consisting of stylized Japanese characters: 澤部 肇.

